

2022年度 王子国際語学院 自己点検・評価	
自己評価方法	
5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:取り組みを検討中 1:改善が必要	
1.教育の理念・目標	自己評価
1-1.教育理念・目標や育成する人材像が明確となっているか	5
1-2.その内容が社会のニーズに合致したものとなっているか	5
本校は外国人留学生に対して、日本の高等教育機関への進学及び日本文化に対する理解を深めるため、必要な語学力と日本の社会、文化及び経済に関する基礎的な知識を教授し、各国の交流や発展に役立つ優秀な人材の育成を目的としている。学校創立以来、厳格な入学選考と入学後の高度な日本語教育及び徹底した進学指導を行い、多くの留学生が希望の大学や大学院に進学できた。また近年、本校での留学を経て、貴重な人材として日本企業に就職した留学生も増えた。	
2.学校運営	自己評価
2-1.学校の運営体制が日本語学校教育機関の告示基準を満たしているか	5
2-2.理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	5
2-3.組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	5
出入国在留管理局の告示基準の改正に合わせて常に新基準を満たしているか自主的に点検を行っている。	
3.教育活動	自己評価
3-1.教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	5
3-2.成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか、また適切に運用されているか	5
3-3.生徒が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	5
3-4.教員の指導力向上のための取組、教育課程の改善のための取組が行われているか	5
授業はすべて直接授業法で優秀な講師陣がきめ細かに指導している。授業内容は学習者の日本語能力試験N1合格、あるいは日本留学試験で高得点獲得を目指している。教員の専門的な指導力を向上するため、内外の研修会や勉強会などを積極的に取り組んでいる。	
4.学修成果	自己評価
4-1.生徒の日本語能力の向上が図られているか	5
4-2.生徒の日本語能力が機関が定める到達目標に達しているか	5
4-3.生徒の進路を適切に把握しているか	5
留学生の日本語力を高めるために定期的に大小テストやクラス分けテストなどを行い、より学生の学習進度に合うクラスを編成している。入学から卒業まで教員と母国語スタッフと連携して、全力で学生の進路をサポートする。	
5.生徒支援	自己評価
5-1.生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか	5
5-2.健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか	5
5-3.防災や緊急時における体制が整備されているか	4
熱心で積極的に留学生の進学指導をサポートする教員が多数在籍している。定期的に学習相談や進路相談を実施している。生活指導担当の教職員は、常に留学生の日常生活を指導し、健康安全な留学生生活を過ごせるように努めている。	
6.教育環境	自己評価
6-1.日本語教育機関の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	5
6-2.教材は適切か	5
6-3.学習効率を図るための環境整備がなされているか	5
学校の施設や設備は告示基準に合わせて整備されている。教材についても学生の進路に合わせてメイン教材や副教材などを調整して最適に組み合わせていることを工夫している。今後ICTなど電子端末を導入することを検討している。	
7.入学者の募集	自己評価
7-1.入学者の募集は適切に行われているか	5
7-2.その際に日本語教育機関の情報は正確に伝えられているか	5
7-3.授業料等は適切か	5
入学希望者全員に面接を実施して、人物選考の同時に授業料や支弁者に関する情報の確認も行う。必要に応じて筆記試験なども行う。高い学習意欲、安定的かつ継続的な経費支弁能力のある学生のみに受け入れる。	
8.財務	自己評価
8-1.中長期的に財務基盤は安定しているか	4
8-2.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
8-3.財務について会計監査は適切に行われているか	5
8-4.財務情報の公開の体制はできているか	3
新型コロナウイルスの影響により2020年度と2021年度の留学生が予定の通りで入学できなかった。万全な予防対策を取りながら、早く入国制限緩和により全員が入国できるように期待している。	
9.法令遵守	自己評価
9-1.出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営、個人情報保護の取組、自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか	4
法令等の遵守や、個人情報保護をしている。自己評価から第三者評価に向けて取り組みを進める。	
10.地域貢献・社会貢献	自己評価
10-1.日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、生徒のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などの取組を行っているか	5
積極的に市役所や地域団体と協力して講演会や国際交流活動、イベントなどを開催している。地域の活動に学生を組織して参加している。	

2022年度 課程修了者の日本語能力習得状況等

基準該当者合計数（実人数）	66
---------------	----

基準該当者の各内訳	進学2年コース	進学1年9ヵ月コース	進学1年6ヶ月コース	進学1年3ヶ月コース
a. 大学等への進学者の数 ※我が国での進学に限り、非正規生は除く。	59	1	1	0
b. 入管法別表第一の一の表若しくは二の表の上欄の在留資格（外交、公用及び技能実習を除く。）への変更を許可された者の数	2	0	0	1
c. C E F R の A 2 相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者の数	45	1	0	0